

## 2025年草の根育成助成 助成事業紹介

分野	地域社会、コミュニティーの健全な営みを目的とする事業
事業名	「子どものあそびを地域の中に！自然の中に！」
団体名	檜原たねとつち
実施場所	東京都西多摩郡檜原村 村内保育施設、自治会館、自然の中等
地域の課題	檜原村は豊かな自然に恵まれていますが、その魅力を活かした子どもの遊び場は依然として不足しています。少子化や過疎化の進行により、自然に触れる体験や子どもが主体的に遊ぶ姿は地域の中でますます見られなくなっています。特に、子どもたちが自由に移動できる環境が乏しく、安全に集える場所が限られていることが課題となっています。昨年度の活動を通して、地域の中で安心して遊びや交流ができる機会を求める声は多く寄せられました。また、近年の生活様式の変化や人とのつながりの希薄化によって、地域住民同士の交流の場が減少し、コミュニティの結束力は弱まりつつあります。こうした状況を踏まえ、子どもと大人が自然の中で関わり合い、学び合える場づくりの必要性は一層高まっています。
事業紹介	檜原たねとつちは、子どもたちが自然の中で安心して遊び、学べる環境づくりを目指しています。今年度は、遊び場不足や自由に移動できない環境といった課題を踏まえ、自然あそびや冒険遊びの場を定期的に開きます。また、地域住民との交流や世代間のつながりを大切にし、子どもと大人が共に学び合える居場所をつくります。さらに、活動を通して得られた声を集め、地域や行政と共有しながら、子どもたちにとってより良い環境づくりにつなげていきます。
担当者コメント	まだ小さな団体ではありますが、昨年度の活動を通じて地域のつながりが少しずつ広がってきました。今年度は「誰一人取り残さない社会」を掲げ、子どもたちが安心して育ち、学び合える環境を地域全体で支えていけるよう取り組んでいきます。自然や人との関わりを大切にしながら、地域に根づいた活動をさらに深め、共に未来を育む社会づくりを進めてまいります。
団体紹介	『檜原たねとつち』では子どもの居場所づくりを通した地域コミュニティーづくりを目指し2023年に発足し、遊ぼう会の企画・運営、地域住民の勉強会の企画運営を行っています。

**第十一回 檜原あそぼう会**

遊ぶことは、生きること！  
大沢の川であそぼう！

おとなもこども  
みんなあそぼう！！

夏休みの宿題を  
持ってきててもいいよー！

焚き火をするよ！  
焼きたいものがあれば、  
持ってきてね！

お部屋でのんびり遊べる  
ボードゲームやトランプも  
用意するよ！！

申し込みは主催者まで！

だれでも食堂同時間催！！  
みんなでカレーを食べましょう。  
参加費無料！  
活動の継続の為、  
カンパ箱を設置しております。

2025.8.27  
11:00~15:00  
好きな時間に来てね！

場所 檜原村郷土資料館 共励会館ふれあい会館  
持ち物 着替え、タオル、水筒、遊びに必要なもの  
見守りスタッフ大募集！  
送迎が必要な方は主催者までおしらせください。  
このイベントは、社協の行事保険に加入しております。  
お車でお越しの方は、お知らせください！  
主催・連絡先 檜原たねとつち（小柴）  
電話 080-6511-0618  
この活動はマルエツ・むすびえども食堂基金MINI  
及び草の根育成財団の助成事業として採択されました。



任意団体「檜原たねとつち」ニュースレター | 2025年  
4月号 VOL.1

NICE TO MEET YOU はじめまして、任意団体「檜原たねとつち」です！

檜原たねとつちでは、「心豊かな村民を育む村づくり」の実現に向け、檜原村の教育方針に沿って「生きる力の育成」を目指しています。子どもが自然や地域社会との関わりを感じ、自己表現や創造性を伸ばせる場として、心身ともに安心して過ごせる居場所づくりを2020年より行っています。檜原村では、豊かな人間を養い、村の「自然と文化・歴史」を学び、守り、大切にすることを基盤とした学校教育が行われています。また、教育目標には学校教育及び社会教育を充実させ、どれかが生涯を通じて、あらゆる機会で学び、支えあうことでのできる社会の実現を目指しているとの記載があります。檜原たねとつちでは、今後とも地域の子どもたちの安全で豊かな遊び場を提供し、遊ぼう会・映画の上映会等のイベントを通して、地域コミュニティへの発展と結束力を向上させていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

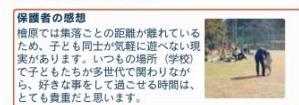
NEW PROJECT 扱沢の滝やまびこにて  
檜原初の「だれでも食堂」開催！

だれでも食堂は、「食」を通じて地元の人同士つながり、楽しく遊んだり、学んだり、談笑したりするすることで「地域の交流の場」や子どもの「見守りの場」を提供する活動です。今回は認定NPO法人全国ごくも食堂支援センター「むすびえども」の助成をうけて、檜原学院の児童生徒と保護者たちを中心に、73名の方に勝手ごとに炊いた1升のお米もあつという間に空っぽになりました。檜原産の食材にこだわり地域の方の協力のおかげで開催することができました。



ASOBOUKAI 第6回檜原遊ぼう会  
檜原小学校の校庭と体育館で開催

遊ぼう会では、「遊ぶことは生きること！」という想いで、子どもも大人もありのままの自分でいる居場所づくりを行っています。第6回目となる今回は、マラソン大会の振替休日（12/2）に檜原小学校の校庭と体育館をおかりして、総勢83人が遊ぼう会を楽しみました。子どもも劇場西多摩よりサポーターも来てくださいました。参加者からは「長い休み時間みたいで、サイコだった！」などの声があがっていました。こちらの事業は一部公益財団法人、草の根育成財団の助成金を受けて運営しています。



NOTICE 活動への参画、大歓迎です！！

檜原たねとつちでは、遊ぼう会やだれでも食堂に参加してくださる仲間やご協力いただける団体・事業所を募集中です。参加の方法は様々。一緒に企画運営してくださる方、調理を手伝ってくださる方、野菜などの食材を提供してくださる方、告知スター掲示してくださる方、当日様子を見に来てくれるなどなど…、お気軽に連絡いただけますと幸いです。また、檜原たねとつちではエコカル消費（人や社会、地域、環境などを思いやるライフスタイル）を心がけております。使ってないお椀、どんぶり、お盆、大きなスプーン（しゃれも形状がそろっているもの）がございましたら、だれでも食堂にて大切に使用していただきたいです。

次回の開催につきましては、社会福祉協議会、かあべえなどの村内施設などに掲示予定です。詳細についてお知りになりたい方は、檜原たねとつちまでお気軽にお連絡いただけますと幸いです。

企画編集：檜原たねとつち / 代表：小柴美果 / 連絡先：koubou.tane@gmail.com

